



# 決算説明資料

2019年3月期 第二四半期

2018年11月13日

# 業績堅調 生産性向上とコスト削減による増益

単位: 億円

	17/3	18/3	19/3	増減	
	上期	上期	上期	金額	比率
売上収益	2,058	2,059	2,267	+208	+10%
営業利益	201	235	302	+67	+28%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	193	178	200	+22	+12%

※18/3の業績は、IFRS15号適用後の数値で修正表記しております。

©2018 HIKARI TSUSHIN, INC. All Rights Reserved

1

# 売上収益・営業利益 法人事業で増収増益

単位: 億円

## 売上収益

	17/3	18/3	19/3	増減率
	上期	上期	上期	
法人	1,285	1,468	1,764	+20%
SHOP	632	465	371	▲20%
保険	151	135	141	+4%
合計 ※全社消去込	2,058	2,059	2,267	+10%

## 営業利益

	17/3	18/3	19/3	増減率
	上期	上期	上期	
法人	138	153	233	+51%
SHOP	63	59	52	▲11%
保険	24	22	20	▲8%
合計 ※全社消去込	201	235	302	+28%

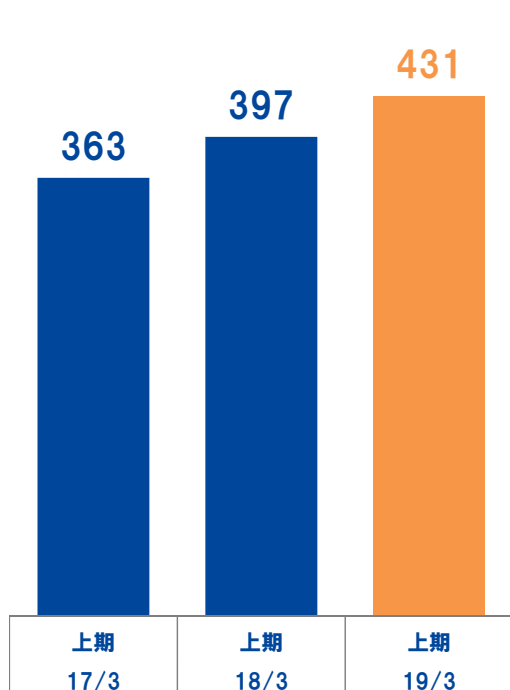
©2018 HIKARI TSUSHIN, INC. All Rights Reserved

2

# ストック利益

主に第二四半期の電力調達単価の増加（季節要因）により  
ストック利益の増加率は鈍化

単位：億円



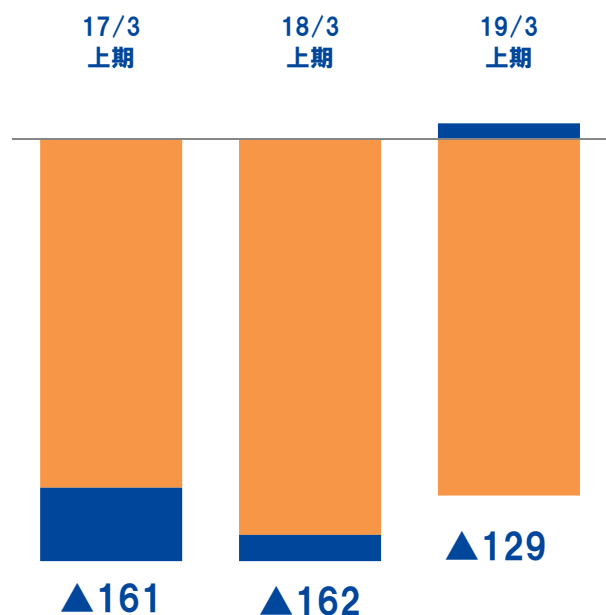
	17/3	18/3	19/3	増減率
	上期	上期	上期	
法人	239	290	336	+15%
SHOP	97	78	64	▲17%
保険	26	29	30	+4%
合計 ※全社消去込	363	397	431	+8%

# 獲得コスト

生産性向上とコスト削減等による減少

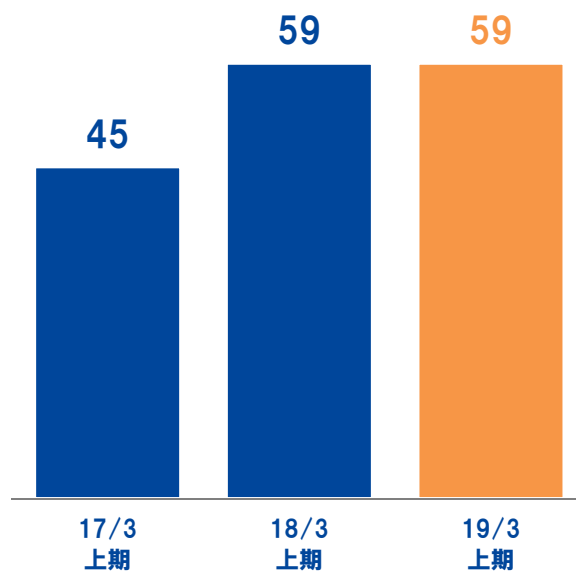
単位：億円

■ 自社商材 ■ その他



## 自社商材獲得件数

単位：万件



# 営業外損益

単位: 億円

	17/3	18/3	19/3	主な差異
	上期	上期	上期	
営業利益	201	235	302	-
金融収益+金融費用	13	9	22	受取配当金の増加
持分法による投資損益	19	▲2	▲0	-
その他の営業外損益	69	58	1	持分法適用に伴う再測定による利益の減少
税引前四半期利益	303	300	325	-
法人所得税費用	▲100	▲110	▲107	-
非支配持分	▲9	▲11	▲17	-
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	193	178	200	-

©2018 HIKARI TSUSHIN, INC. All Rights Reserved

5

# 業績予想 進捗堅調

単位: 億円

	19/3 上期	19/3 通期	
	実績	予想	進捗率
売上高	2,267	4,300	52%
営業利益	302	550	55%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益・当期利益	200	350	57%

©2018 HIKARI TSUSHIN, INC. All Rights Reserved

6

# 連結キャッシュフロー

単位: 億円

	17/3	18/3	19/3	主な差異
	上期	上期	上期	
営業活動による キャッシュ・フロー	+136	+95	+250	営業債務その他の債務の増加
投資活動による キャッシュ・フロー	▲40	▲76	▲351	投資有価証券の取得 有形・無形固定資産の取得
フリー・キャッシュ・ フロー	+95	+18	▲101	-
財務活動による キャッシュ・フロー	+227	+481	+205	有利子負債の増加

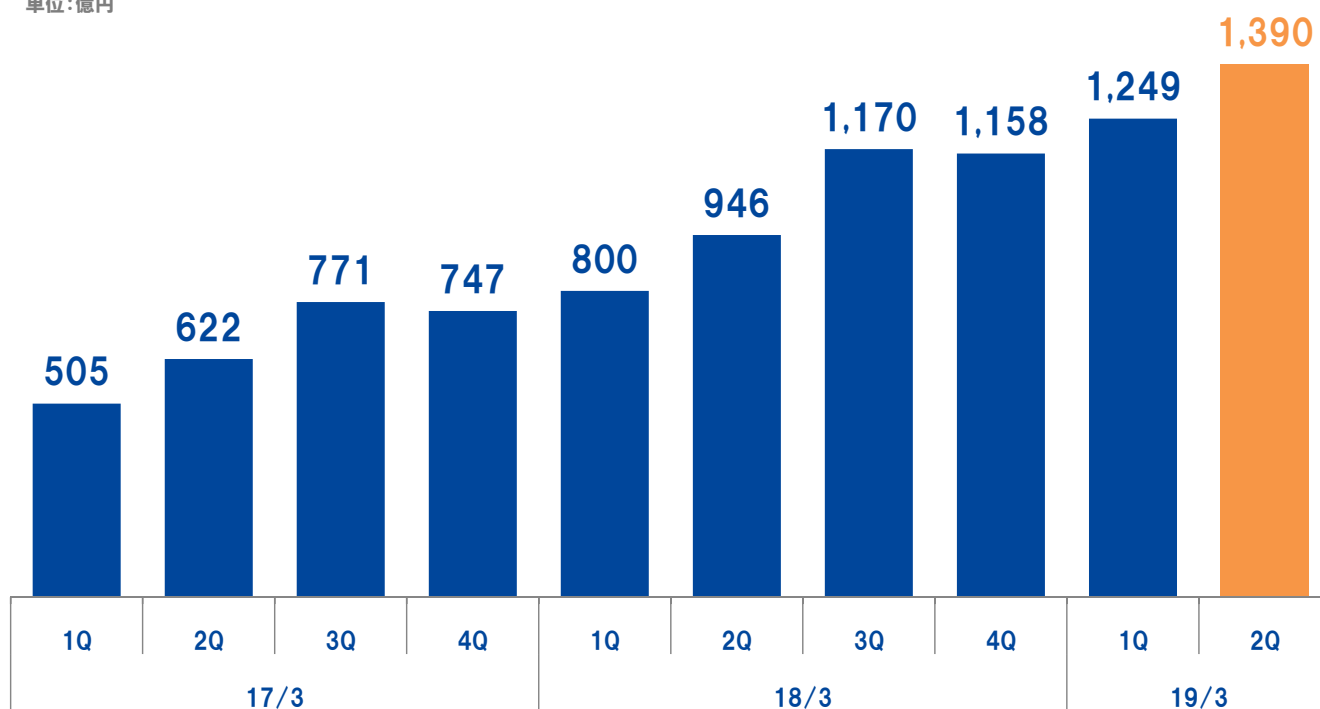
©2018 HIKARI TSUSHIN, INC. All Rights Reserved

7

# 純現金資産

※ 現預金 + 上場投資有価証券(上場子会社除く) - 有利子負債

単位: 億円



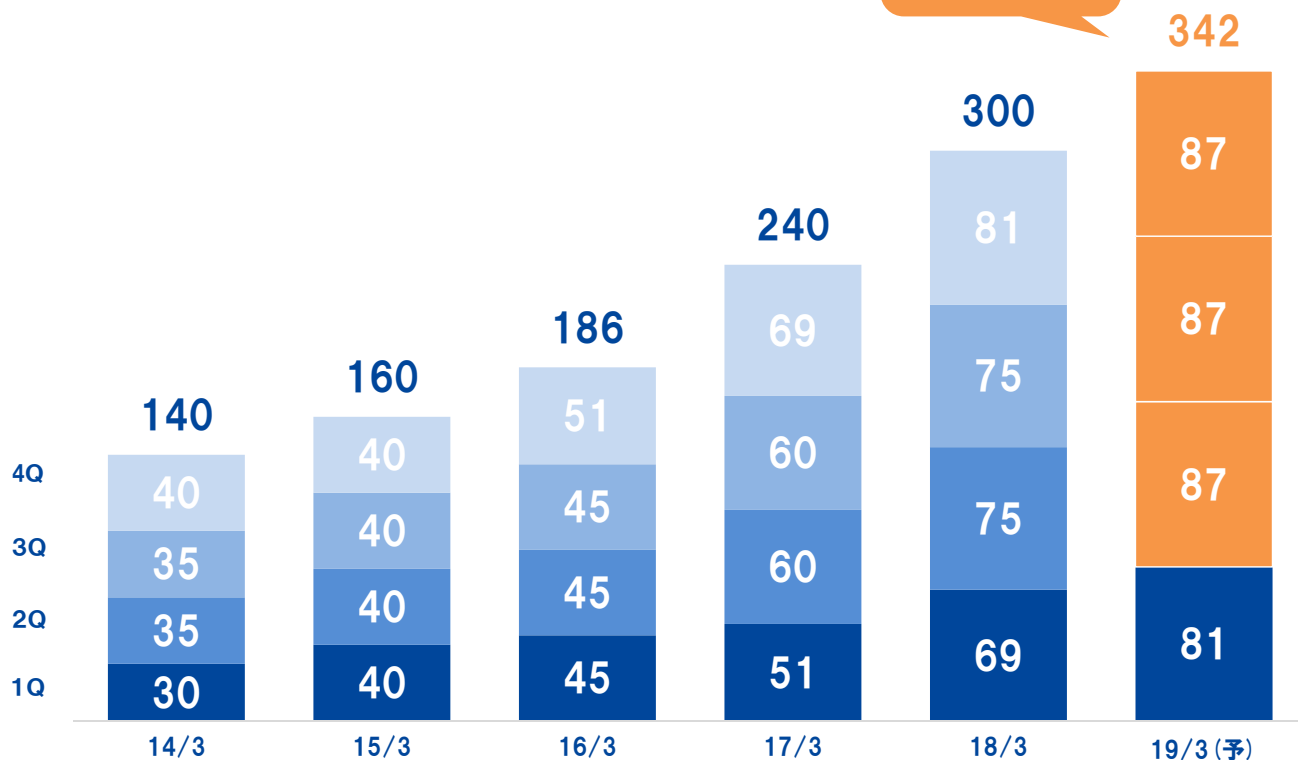
©2018 HIKARI TSUSHIN, INC. All Rights Reserved

8

# 安定的な増配を継続

単位:円

配当予想324円  
から18円増加  
(四半期ごとに6円)



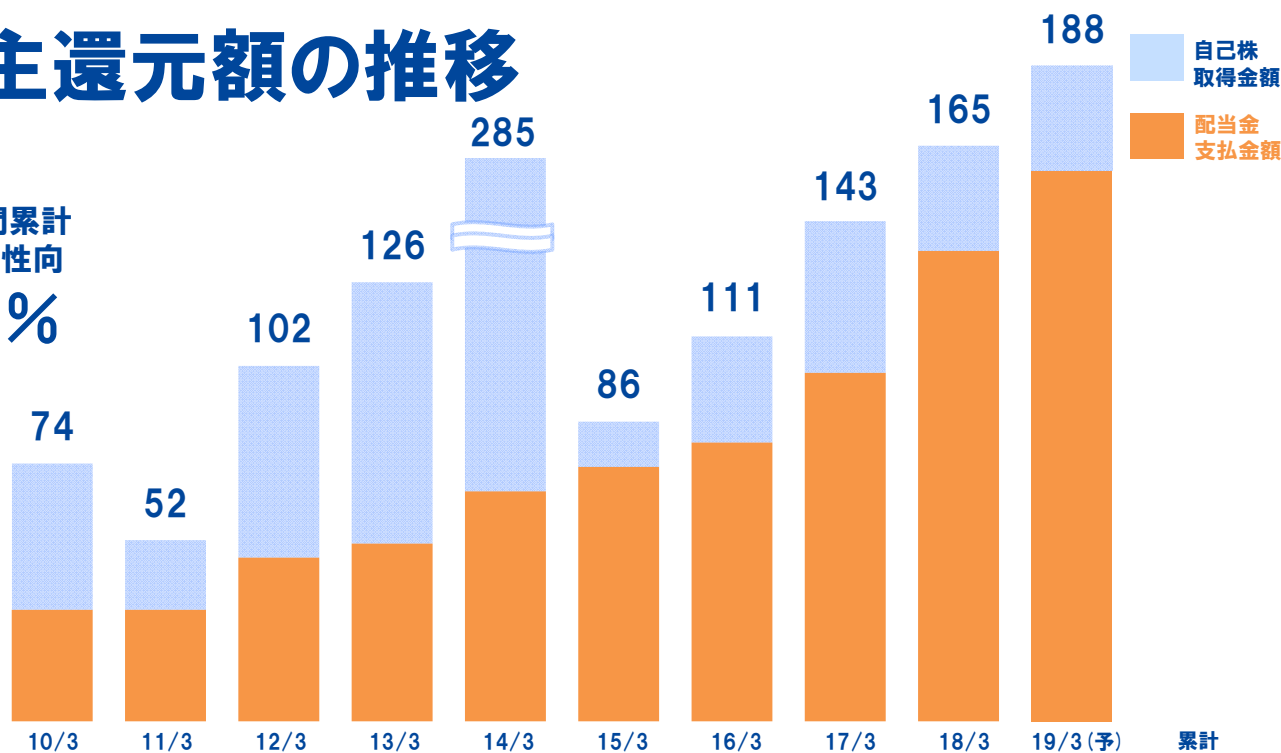
©2018 HIKARI TSUSHIN, INC. All Rights Reserved

9

# 株主還元額の推移

単位:億円

10年間累計  
総還元性向  
**61%**



配当金支払金額	32	32	47	51	66	73	80	100	135	158	780
自己株取得総額	42	20	56	76	220	13	30	43	30	30	558
総還元性向	1,057%	-	132%	75%	98%	42%	44%	36%	39%	53%	61%

©2018 HIKARI TSUSHIN, INC. All Rights Reserved

10

# 各事業について

## 事業領域

内輪：セグメント  
外輪：事業領域



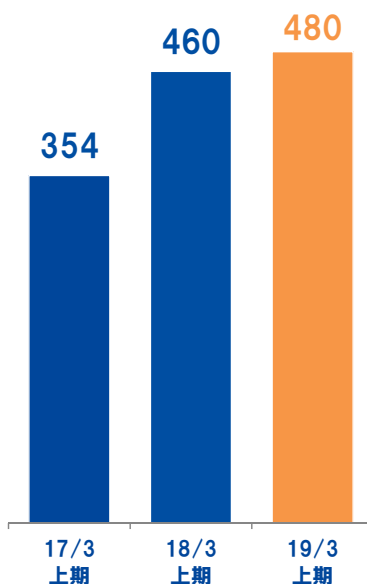
# 回線事業 (MVNO/自社光サービス等)

事業概要：インターネット回線サービスの販売など  
 主要商材：データ通信端末、SIMなど  
 区分：自社商材、他社商材

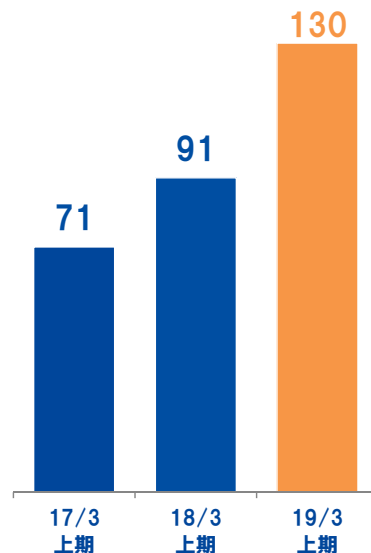
## ①事業イメージ



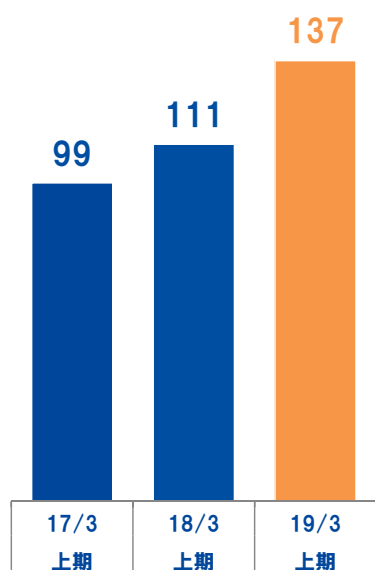
## ②売上 (単位:億円)



## ③営業利益 (単位:億円)

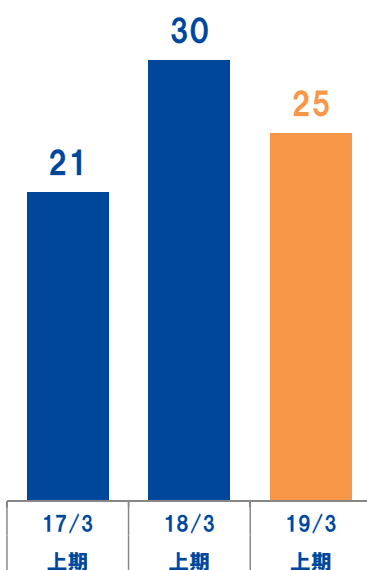


## ④ストック利益 (単位:億円)



## ⑤獲得件数 (単位:万件)

※自社商材



自社SIMの獲得減少により獲得件数は微減となりましたが、  
 長期的な安定収益の柱となる保有件数の増加に伴い、増益となりました。



# 水事業

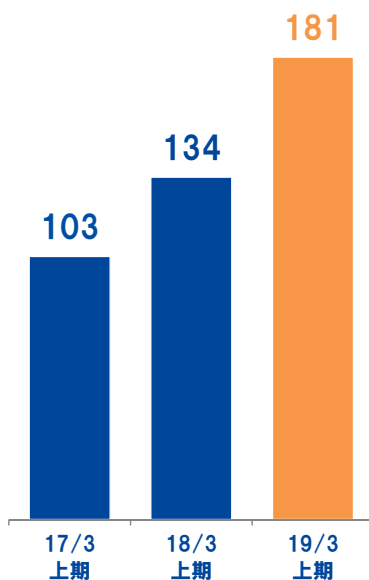
事業概要：全国各地の天然水の取水から販売まで  
 主要商材：ウォーターサーバーなど  
 区分：自社商材

## ① 事業イメージ

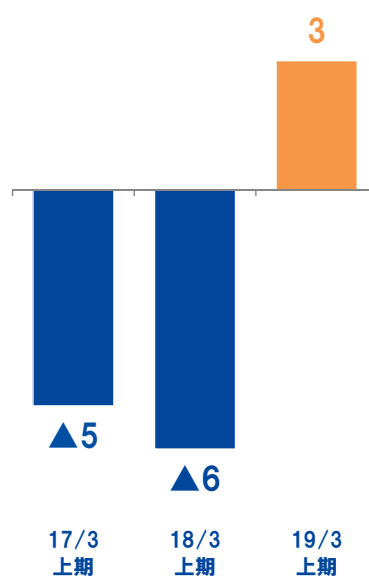
※開発、製造、品質管理、販売、アフターサービス  
 全てを当社グループにて行っております。



## ② 売上 (単位:億円)



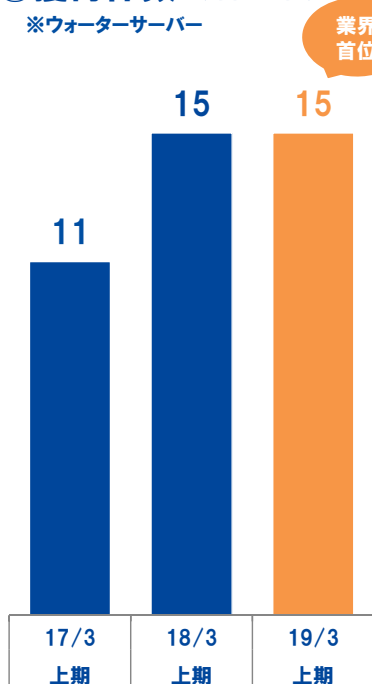
## ③ 営業利益 (単位:億円)



## ④ 獲得件数 (単位:万件)

※ウォーターサーバー

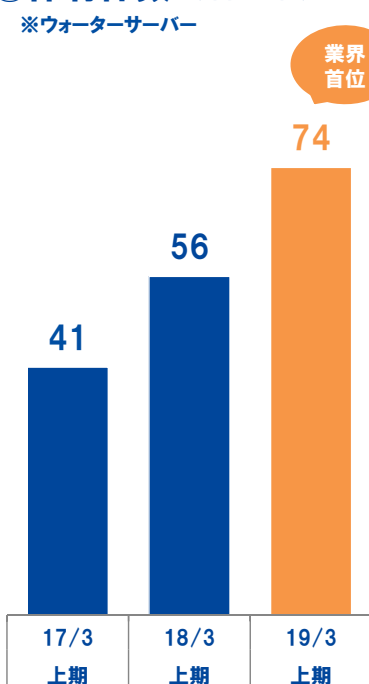
業界  
首位



## ⑤ 保有件数 (単位:万件)

※ウォーターサーバー

業界  
首位



収益基盤の強化に向けた保有契約件数の増加や1契約当たりの収益性の向上が  
 順調に推移していることから、増収増益となりました

# 新規事業他

事業概要：各種新規事業  
 主要商材：コンテンツ、EPARK、電力など  
 区分：自社商材、他社商材

## ①事業イメージ

### コンテンツ事業

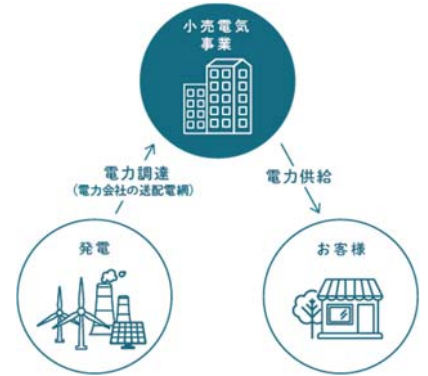


### 業種別ITソリューション

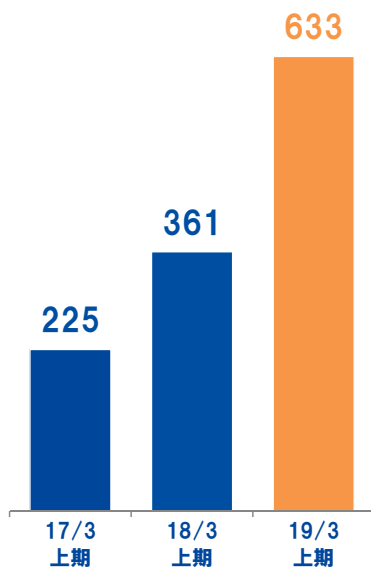
# EPARK



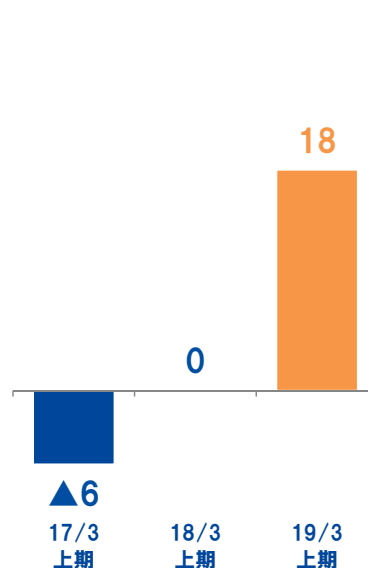
### 電力事業



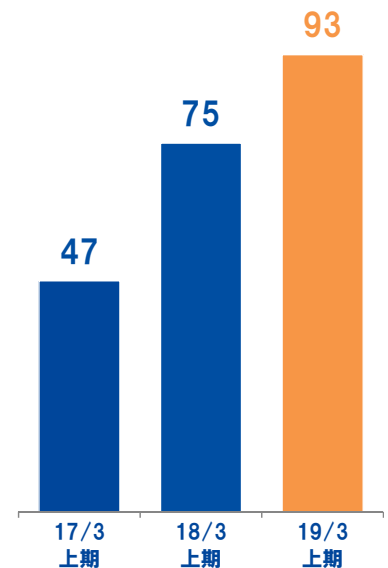
## ②売上 (単位:億円)



## ③営業利益 (単位:億円)



## ④ストック利益 (単位:億円)



安定的な増収増益を継続しております。

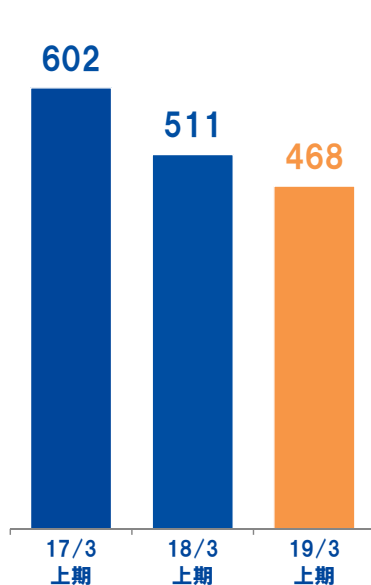
# オフィス関連事業

事業概要：オフィス機器の販売  
主要商材：複合機、携帯電話、ビジネスフォン、LEDなど  
区分：他社商材

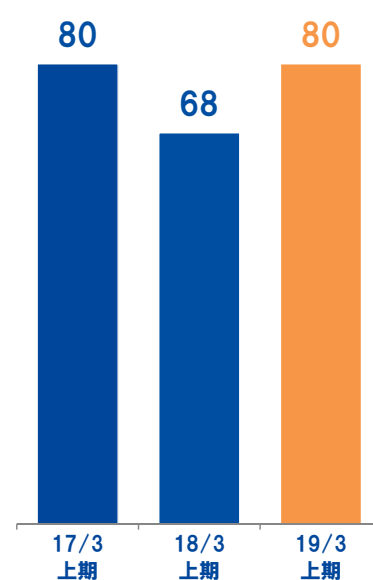
## ① 事業イメージ



## ② 売上 (単位:億円)



## ③ 営業利益 (単位:億円)



## ④ ストック利益 (単位:億円)



コスト削減及び営業生産性の向上効果により営業利益は増益となりました。

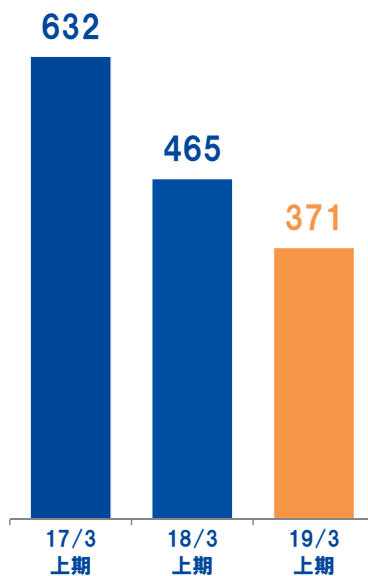
# SHOP事業

事業概要：携帯電話販売店舗における各種商品の販売  
主要商材：携帯電話、SIM、データ通信端末など  
区分：他社商材

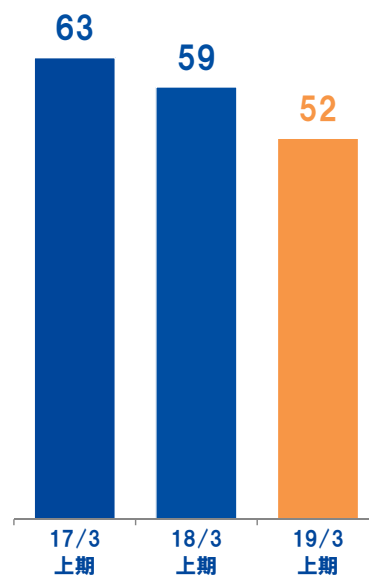
## ① 事業イメージ



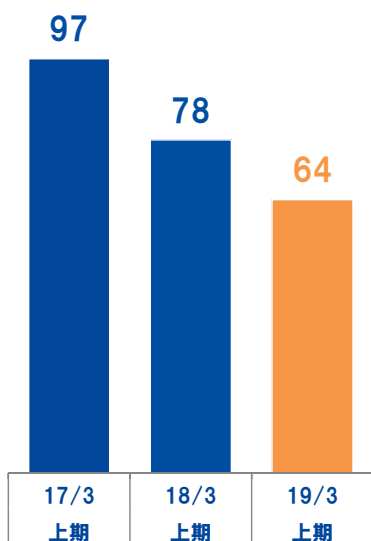
## ② 売上 (単位:億円)



## ③ 営業利益 (単位:億円)



## ④ ストック利益 (単位:億円)



## ⑤ 店舗数 (単位:店舗)



移動体通信市場の成熟などにより減益となっておりますが、  
店舗の生産性及び接客サービスの向上に注力しております。

# 保険事業

事業概要：SHOPや訪問販売などによる保険商品の取次販売  
主要商材：生命保険、医療保険、損害保険など  
区分：他社商材

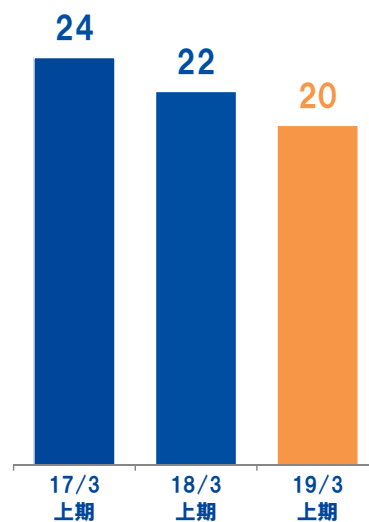
## ① 事業イメージ



## ② 売上 (単位:億円)



## ③ 営業利益 (単位:億円)



## ④ ストック利益 (単位:億円)



## ⑤ 直営店舗数

(単位:店舗)



コールセンター・店舗・WEB・訪問の4つのチャンネルの販売網の連携強化に注力しております。

# 基本情報

# セグメント

	事業	商材・サービス	ターゲット		販売チャネル		
法人	回線	データ通信端末	中小企業	個人	テレマ	Web	
		SIM					
		FTTH・ISP					
	水	ウォーターサーバー	中小企業	個人	テレマ	ブース	
	新規事業	業種別・ITソリューション		中小企業		訪問販売	
		コンテンツ					
		電力				テレマ	訪問販売
オフィス関連	法人携帯		中小企業	個人	訪問販売		
	OA機器		中小企業				
	LED						
SHOP	SHOP	携帯電話	個人		店舗		
		データ通信端末					
		SIM					
保険	保険	保険	個人	テレマ	店舗		

# 事業概要

自社商材の企画・開発



## キャリア等

通信会社
メーカー
保険会社

代理店契約  
卸販売契約

連結 子会社	196社	持分法 適用会社	133社
-----------	------	-------------	------

販売  
取次

## エンドユーザー

中小企業
個人

## ニーズ

シェア拡大 営業人材確保
光通信のソリューション
販売力の提供

## 販売網

代理店数	約1,000社	代理店含む 稼働人数	約30,000人
販売拠点数	約90拠点	コールセンター 拠点数	23拠点
携帯電話 販売店舗数	1,903店舗	保険 販売店舗数	327店舗
法人顧客数	90万社	個人顧客数	142万人

## ニーズ

業務効率化 最適プラン選択
光通信のソリューション
商品・サービスの提供

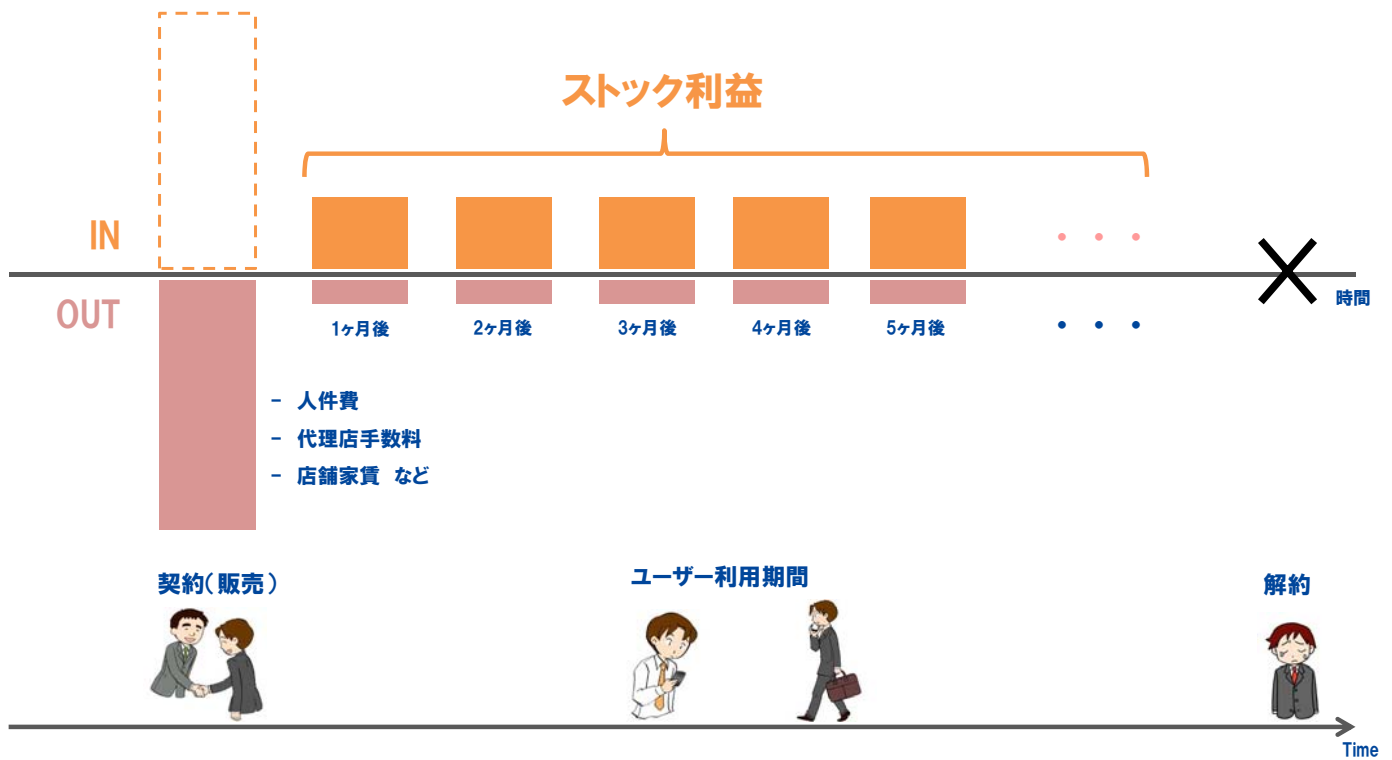
# 主要商材

自社商材

①ウォーターサーバー  月次販売数 No.1	②データ通信端末  月次販売数 No.1	③自社光サービス  独立系No.1	④EPARK  会員数2,300万人以上
⑤自社SIM  獲得拡大	⑥自社コンテンツ  販売好調	⑦電力  販売好調	⑧SME向けLED  月次販売数No.1
⑨複写機  月次販売数 独立系No.2	⑩携帯電話  月次販売数 No.4	⑪保険  独立系No.1	⑫固定回線  月次販売数 No.1

# 代表的な収益モデル

(1件あたりの収益イメージ)



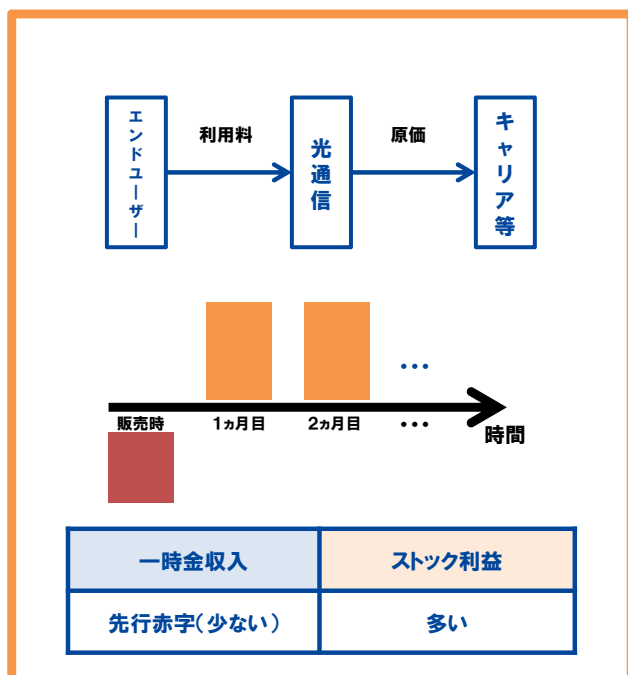
©2018 HIKARI TSUSHIN, INC. All Rights Reserved

Time  
29

# ビジネスモデル

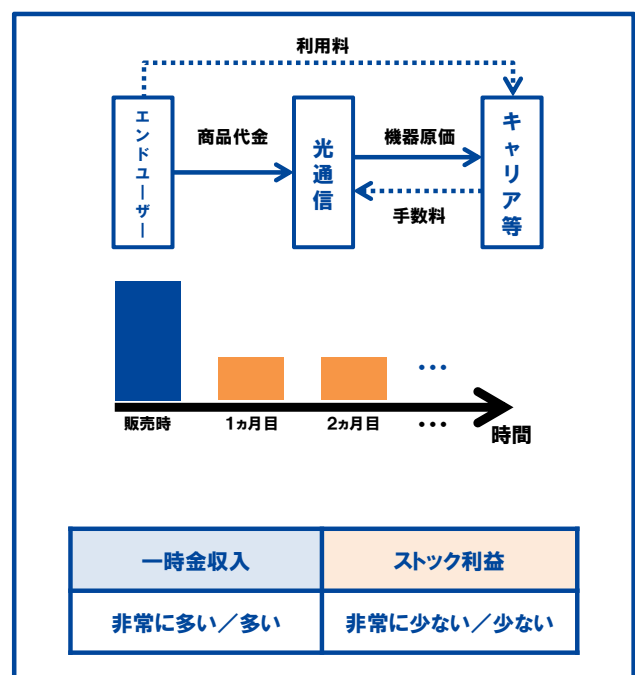
## ① 自社商材事業

データ通信端末、ウォーターサーバー、電力...



## ② 他社商材事業

固定回線、OA機器、LED、携帯電話、保険...

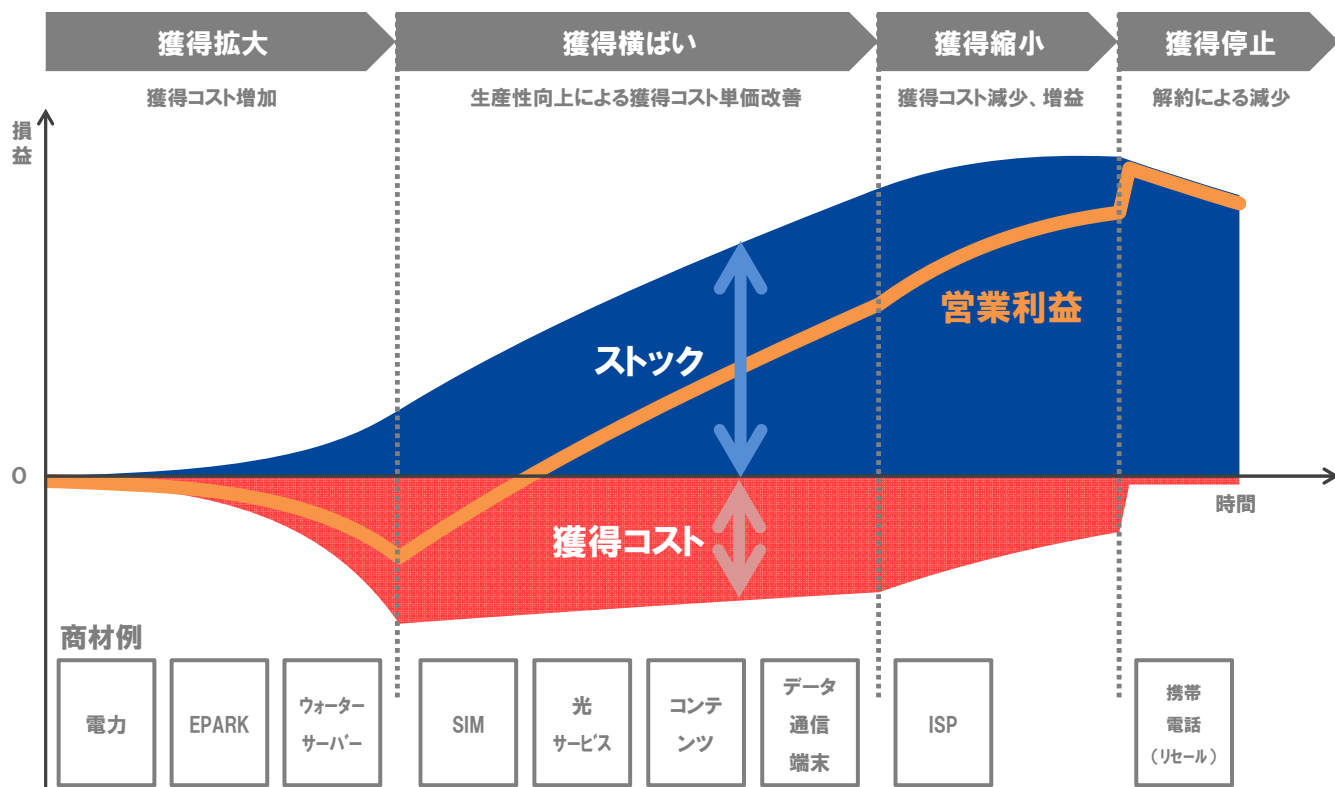


©2018 HIKARI TSUSHIN, INC. All Rights Reserved

30



# 自社商材の営業利益推移イメージ



©2018 HIKARI TSUSHIN, INC. All Rights Reserved

31

## 参考情報

©2018 HIKARI TSUSHIN, INC. All Rights Reserved

32

# [参考] 売上収益・営業利益の分解

単位: 億円

18/3 通期実績	金額		金額	説明・呼称	
売上収益	4,275	→	継続型	2,061	自社顧客からの通信利用料、通信キャリア・保険会社からの収入
			一時型	2,213	イニシャル手数料収入、ハードウェア販売代金
原価+販管費	▲3,764	→	継続型	▲1,249	提供サービスの原価、請求コスト等顧客維持コスト
			一時型	▲2,515	ハードウェア仕入原価、営業人件費、二次代理店への販売手数料
営業利益	510	→	継続型	811	ストック利益
			一時型	▲301	獲得コスト

©2018 HIKARI TSUSHIN, INC. All Rights Reserved

33

# [参考] 携帯電話販売における、販路の違いによる計上金額の差異

※金額は、会計基準の影響を比較しやすいように参考値として掲載しているものであり、実勢価格等を示すものではありません。

※対象は端末代金のみであり、販売手数料については会計基準変更による影響はありません。

※下記はIFRSの場合であり、日本基準では販路の違いに係らず総額表示でした。

	直営販売(総額表示)	代理店販売(純額表示)	
	<p>キャリア @8万円 → 当社 → お客様 (個人/法人)</p> <p>対象商材: ①</p>	<p>キャリア @8万円 → 当社 → 代理店 → お客様 (個人/法人)</p> <p>対象商材: ①</p>	
	計上金額	計上金額	差
売上収益	8万円	0円	▲8万円
売上原価	▲8万円	0円	+8万円
売上収益総利益	0円	0円	0円

©2018 HIKARI TSUSHIN, INC. All Rights Reserved

34

# IFRS第9号の適用に伴う利益認識の主な変化

勘定科目		利益認識	
		適用前 (IAS第39号)	適用後 (IFRS第9号最新版)
株式売却損益	子会社から外れる場合	営業利益	変更なし
	持分法から外れる場合	税引前利益	変更なし
	非連結株式の売却	税引前利益	包括利益
株式段階取得差損益		税引前利益	包括利益
株式除外時再評価益	子会社から外れる場合	営業利益	変更なし
	持分法から外れる場合	税引前利益	変更なし
減損損失	資本性金融商品	税引前利益	包括利益
	負債性金融商品(優先株など)	税引前利益	変更なし
含み損益		包括利益	変更なし

# IFRS第15号の適用に伴う利益認識の主な変化

※特に自社商材の販売に伴う契約獲得コスト(主に代理店手数料)に関して、従来費用を一括で計上をしていたところ、顧客との契約期間に応じて分割で計上することとなります。尚、単体決算については変更ありません。

	費用認識		期間
	適用前	適用後	
収益認識が 分割である取引 (主に自社商材)	一括	分割 ※一部例外あり	2~3年 ※契約期間により異なる
収益認識が 一括である取引 (主に他社商材)	一括 (※)	一括	平均利用期間 (期待収益) 5年~10年超 ※商材により異なる

(※)「収益認識が一括」かつ「費用認識が分割」という取引はありません

# 連結損益計算書

単位: 億円

	15/3	16/3		17/3	18/3
	日本基準	日本基準	IFRS	IFRS	IFRS
売上収益	5,625	5,745	4,476	4,289	4,275
営業利益	320	374	376	415	510
経常利益	365	383	-	-	-
税引前当期利益	458	511	479	627	537
親会社株主/親会社の所有者に帰属する 当期利益	207	250	225	390	429
1株当たり当期利益(円)	450	538	485	840	927
売上収益営業利益率(%)	5.7%	6.5%	8.4%	9.7%	11.9%

※18/3は、IFRS15号適用後の数値で修正表記しております。

©2018 HIKARI TSUSHIN, INC. All Rights Reserved

37

# 連結財政状態計算書

単位: 億円

	17/3 IFRS	18/3 IFRS		17/3 IFRS	18/3 IFRS
現金及び現金同等物	1,193	1,858	営業債務及びその他の債務	1,074	1,244
営業債権及びその他の債権	1,506	1,661	有利子負債(流動)	407	367
流動資産合計	3,122	3,745	流動負債合計	1,625	1,759
持分法で会計処理されている投資	345	501	有利子負債(非流動)	1,324	2,332
その他の金融資産(非流動)	1,081	1,738	非流動負債合計	1,552	2,681
非流動資産合計	1,992	3,111	負債合計	3,178	4,441
資産合計	5,114	6,856	株主資本	1,500	1,793
	17/3 IFRS	18/3 IFRS	その他の包括利益累計額	304	459
自己資本	1,804	2,252	資本合計	1,936	2,415
自己資本比率	35.3%	32.9%	負債及び資本合計	5,114	6,856

※18/3は、IFRS15号適用後の数値で修正表記しております。

©2018 HIKARI TSUSHIN, INC. All Rights Reserved

38

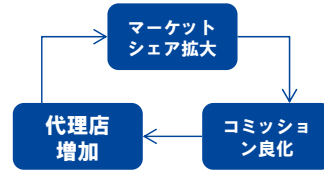
# 当社の強み

## ①創業来からの強み



創業以来大事にしてきた企業風土が数字を積み上げる原動力になっている。

## ③圧倒的な販売網



シェア拡大～代理店増加の好循環が続いており販売網が拡大している。

## ②ストック利益

単位:億円



毎月安定的に得られる利益が大きいため事業拡大のコストを十分にかげられる。

## ④自社顧客



アプローチ可能な顧客リストが積み上がり、クロスセルによる効率的な利益増加が見込まれる。

※IFRS15号適用後の数値で修正表記しております。

©2018 HIKARI TSUSHIN, INC. All Rights Reserved

39

# 光通信の取り組み

## 雇用環境の整備

### ①ダイバーシティの推進

多様化するビジネス社会に合わせて、グループ全社でダイバーシティを推進しています。また、育児支援や復職支援などにも積極的に取り組んでいます。



### ②としまイクボス宣言への参加

2016年9月、豊島区役所で産・官・学による「としまイクボス宣言」が開催され、イクボス宣言をいたしました。

※イクボスとは、職場で共に働く部下・スタッフのワークバランス(仕事と生活の両立)を考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司(経営者・上司)のことを指します。



### ③「くるみん」の取得

東京労働局より次世代認定事業主としての認定を受け、次世代育成支援対策推進法認定マーク(愛称「くるみん」)を取得しています。



## 社会貢献活動の取り組み

### ④ペットボトルキャップの回収

ペットボトルキャップをワクチン費用にするNPO法人エコキャップ推進協会の活動を支援しています。(2018年3月末時点で、累計378万個・ワクチン約4,049人分相当)



### ⑤使用済み切手の回収

使用済み切手を豊島区の社会福祉協議会に寄付しています。使用済み切手は、資金化されたのち福祉事業に活用されています。(2018年3月末時点で、累計7,109グラム)



### ⑥TC(豊島区クリーン化計画)活動の実施

毎月9がつく日を「クリーン・デイ」と名づけ、池袋駅周辺の清掃活動を行っています。平成28年度環境活動推進団体として、豊島区より感謝状を授与されました。



©2018 HIKARI TSUSHIN, INC. All Rights Reserved

40

### 免責事項

本資料に記載の内容は、過去及び現在の事実に関するものを除き、当社が現時点で入手可能な情報及び仮説に基づいて判断されたものであり、当該仮説や判断に含まれる不確定要素や、将来の経済環境の変化等により影響を受ける可能性があり、結果として当社および当社グループの将来の業績と異なる可能性があります。

なお、本資料における将来情報に関する記述は上記のとおり本資料の日付(またはそこに別途明記された日付)時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。

また、本資料に記載されている当社ないし当グループ以外の企業等にかかわる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っており、また、これを保証するものではありません。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

### インサイダー取引に関するご注意

企業から直接、未公開の重要事実の伝達を受けた投資家(第一次情報受領者)は、当該情報が「公表」される前に株式売買等を行うことが禁じられています(金融商品取引法166条)。同法施行令第30条等の定めにより、二つ以上の報道機関に対して企業が当該情報を公開してから12時間が経過した時点、または金融証券取引所に通知しかつ内閣府令で定める電磁的方法(TDnetの適時開示情報閲覧サービスおよびEDINET公開WEBサイト)により掲載された時点を以って「公表」されたものとみなされます。